

# 博物館

## 1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切にすることを育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

## 2. 施設の概要

- ・名称 四日市市立博物館
- ・所在地 四日市市安島一丁目3番16号
- ・設立年月日 平成5年4月1日
- ・開館年月日 平成5年11月1日
- ・丹羽文雄記念室オープン 平成18年12月9日
- ・リニューアルオープン 平成27年3月21日
- ・敷地面積 1,845.840 m<sup>2</sup>
- ・建設面積 1,590.397 m<sup>2</sup>
- ・延床面積 10,147.108 m<sup>2</sup>
- ・建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
地下2階、地上6階

### ・主な室名と面積

展示・教育部門		2,202.065 m <sup>2</sup>
常設展示室	2 F	658.364 m <sup>2</sup>
常設展示室	3 F	548.291 m <sup>2</sup>
特別展示室	4 F	594.798 m <sup>2</sup>
ラウンジ	4 F	93.674 m <sup>2</sup>
図書スペース	1 F	86.350 m <sup>2</sup>
講座室	1 F	142.218 m <sup>2</sup>
研修・実習室	1 F	78.370 m <sup>2</sup>
収蔵部門		1,256.230 m <sup>2</sup>
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m <sup>2</sup>
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m <sup>2</sup>
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m <sup>2</sup>
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m <sup>2</sup>
収蔵庫②③前室	B 1 F	76.086 m <sup>2</sup>
荷解室	1 F	231.308 m <sup>2</sup>
研究部門		420.165 m <sup>2</sup>
作業室	2 F	50.422 m <sup>2</sup>
資料整理室	B 1 F	84.370 m <sup>2</sup>
文献資料室	3 F	37.952 m <sup>2</sup>
資料評価室	4 F	33.300 m <sup>2</sup>
くん蒸室	B 1 F	43.070 m <sup>2</sup>
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m <sup>2</sup>
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m <sup>2</sup>
第2会議室	4 F	37.952 m <sup>2</sup>
第3会議室	3 F	28.707 m <sup>2</sup>
プラネタリウム部門		1,714.282 m <sup>2</sup>
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m <sup>2</sup>
コズミックラウンジ	5 F	59.081 m <sup>2</sup>
コズミックギャラリー	5 F	194.763 m <sup>2</sup>
ブリーフィングルーム	5 F	59.326 m <sup>2</sup>
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m <sup>2</sup>



管理・一般部門		4,554.366 m <sup>2</sup>
事務室	3 F	105.059 m <sup>2</sup>
事務室	2 F	60.464 m <sup>2</sup>
第1会議室	2 F	37.001 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m <sup>2</sup>
警備室	1 F	20.812 m <sup>2</sup>
中央監視室	B 2 F	44.064 m <sup>2</sup>
設備機械室	B 2 F	486.190 m <sup>2</sup>
電気室、発電機室		240.152 m <sup>2</sup>

倉庫、展示備品室など 3,531.901 m<sup>2</sup>

### ・プラネタリウム仕様

ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）

座席 144 席（遮音室 8 席）

光学式投映機 ケイロン 401

デジタル式投映システム パーチャリウムⅡ

全天周映画 可能

## 3. そらんぼ四日市

博物館と併設の四日市公害と環境未来館は、「そらんぼ四日市」の総称のもと、市民に親しまれ、本市のイメージを発信する一体感のある事業展開を図っている。

常設展示は、原始・古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場としている。

プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場としての特色を持ち、市内外から多くの観覧者が訪れている。

博物館・プラネタリウムと四日市公害と環境未来館は、過去から現在そして未来へという時間軸と、四日市から日本、世界・地球そして宇宙へという空間軸を自在に交差させ、立ち位置や見方、考え方を変えることで、未来のまちづくりを市民一人一人が考えることができる場となることを目指している。

#### 4. 展示等事業

##### (1) 常設展

###### ・時空街道

四日市のあゆみのうち、原始・古代から江戸時代までを博物館で展示し、明治以降は2階の四日市公害と環境未来館で展示するため、両館の展示が一体的な時代の流れにあることを理解できるよう、展示テーマを「四日市のまちの発展と人々の暮らしの変化」とした。

時空街道では、各時代を特徴づける原寸大の建物を再現し、観覧者自身が時代の雰囲気や、社会の変化の流れを体感できるような構成としている。映像や照明による一日の時間や季節の移り変わりを感じられるほか、スマートフォンやタブレット端末を利用した展示解説や、解説シート、ボランティアとの対話の中から得られる説明など、資料の理解を促す方法も選べ、何度訪れても学べる工夫をおこなっている。

###### ・丹羽文雄記念室

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者之墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長をながく務めた功績などを展示している。

また、二十数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現している。

開館日数 260日 観覧者数 29,357人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月27日(金)から9月30日(木)まで臨時休館

##### (2) 特別展・企画展

① 日本の写真史を飾る101人 フジフィルム・フォトコレクション		
会 期	4月17日(土)から 6月6日(日)までの44日間	
観 覧 料	一般1,000円 高・大生500円	
観 覧 者 数	1,354人	
関 連 行 事	4月24日(土)	記念講演会「日本写真史で何が起こったか？」 飯沢耕太郎(写真評論家)
	4月17日(土) 5月1日(土) 5月22日(土)	ギャラリートーク 千田佑香(当館学芸員) ※5月1日と22日については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② ミュシヤ ～アール・ヌーヴォーの華～		
会 期	7月3日(土)から 8月26日(日)までの48日間 (当初57日間)	
観 覧 料	一般1,100円 高・大生500円	
入 館 者 数	5,456人	
関 連 行 事	7月3日(土)	記念講演会「コレクター尾形寿行氏によるスペシャルトーク」 尾形寿行(作品所蔵者)
	7月25日(日)	ワークショップ「キッチンリトグラフ」 齋田明里(当館職員)

③ 昭和の暮らし 昭和のおもちゃ		
会 期	令和4年1月4日(火)から 2月27日(日)まで48日間	
観 覧 料	一般400円 高・大生300円	
観 覧 者 数	5,402人	
関 連 行 事	1月16日(日)	「むかしの道具」 野口裕(当館職員)
	2月6日(日)	「昭和のあそび」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④ 共催展「第63回北勢地区高等学校美術展」		
会 期	令和4年3月8日(火)から 3月13日(日)までの6日間	
観 覧 料	無 料	
観 覧 者 数	501人	
関 連 行 事	3月13日(土)	「講演会とワークショップ」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 学習支援展示・特別陳列

学習支援展示 観覧者数 12,285人(3年度分のみ)

名称	会期	場所
①大昔の四日市 —弥生時代と 古墳時代—	3月16日(火)～ 5月5日(水・祝)	白里亭
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月15日(火)～ 9月5日(日) ※8月27日(金) ～9月5日(日) 臨時休館	白里亭、 3Fロビー、 2F常設展一部
③ようこそ！ 時空街道展	令和4年3月15 日(火)～5月5日 (木・祝)	白里亭

特別陳列 観覧者数 14,321人

名称	会期	場所
①館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展	5月15日(土)～ 6月6日(日)	白里亭
②館蔵品展Ⅱ 珍名・奇名植物 ずかん	9月14日(火)～ 11月14日(日) ※9月14日(火)～ 30日(木)臨時休館	白里亭
③館蔵品展Ⅲ お正月～寅年～	11月27日(土)～ 令和4年1月23日(日)	白里亭
④くるべ古代歴史 館出張展 「国指 定史跡 久留倍官 街遺跡」	1月29日(土)～ 2月27日(日)	白里亭

5. 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ(全6回、うち2回中止)

参加者数 85人 [場所: 講座室ほか]

5月23日(日)	バックヤードツアー	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月20日(日) ※コロナのため8月15日(日)に振替	四日市空襲を語り継ごう	野口裕(当館職員)
6月27日(日)	七夕かざり	
8月1日(日)	紋切りうちわ	
12月4日(日)	お正月かざり	
令和4年2月23日(水・祝)	ひな祭り	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②親と子のプチわーくしょっぷ(全3回、うち1回中止)

参加者数 68人 [場所: 講座室]

7月18日(日)・23日(金・祝)	わくわく水族館をつくるう!	野口裕(当館職員)
8月22日(日)	えのぐで遊ぼう!	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
11月23日(火・祝)	動くおもちゃにチャレンジ!	野口裕(当館職員)

(2) 一般向け講座

①時空街道ツアーex(全5回、うち1回中止)

参加者数 56人 [場所: 時空街道]

4月4日(日)	私たちの暮らしと環境との関係を四日市から出発し、日本、世界、地球、宇宙に広げて考える。4がつく日曜・祝日に体感型常設展「時空街道」(四日市公害と環境未来館含む)及びプラネタリウム番組をボランティアが案内する「そらんぼ四日市」のコンセプトツアー。	博物館ボランティア、野口裕(当館職員)
5月4日(火・祝)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
7月4日(日)		博物館ボランティア、野口裕(当館職員)
10月24日(日)		
11月14日(日)		

②ベビーカーDAY(全12回、うち8回中止)

参加者数 17人 [場所: 特別展示室]

4月18日(日)	毎月第3日曜日の「家庭の日」にあわせ、幼児や赤ちゃんと展示会をゆっくり見られる日時を設定。授乳室なども用意。各日 9:30～12:00	
5月16日(日)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
6月20日(日)		
7月18日(日)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
8月15日(日)		
9月19日(日)		
10月17日(日)		
11月21日(日)		
12月19日(日)		
令和4年1月16日(日)		※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
2月20日(日)		
3月20日(日)		

③ミュージアムセミナー

「新しいメディア芸術とミュージアム」(全4回)

参加者数54人〔場所：講座室〕

5月15日(土) ※コロナのため10月30日(土)に振替	写真の力 ～奈良の古写真と入江泰吉作品から探る～	説田晃大(入江泰吉記念奈良市写真美術館 奈良市美術館 兼務 学芸員)
7月17日(土)	マンガとミュージアム ～マンガと社会の関係から考える～	伊藤遊(京都精華大学国際マンガ研究センター 特任准教授)
8月21日(土) ※コロナのため10月16日(土)に振替	これは<資料>か<作品>か? ～ミュージアムのデザインコレクションを考えてみる～	植木啓子(大阪中之島美術館 学芸課長)
令和4年1月29日(土) ※コロナのため3月26日(土)に振替	映像という厄介なもの	越後谷卓司(愛知県美術館 主任学芸員)

④館長講座「日本画家研究Ⅱ」・「日本の宗教美術」(全8回、うち5回中止)

参加者数54人〔場所：講座室〕

4月10日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 横山 大観	吉田俊英(当館館長)
6月5日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 菱田 春草	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
9月4日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 川合 玉堂	
10月9日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 竹内 栖鳳	
11月13日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 土田 麦僊	※講師都合のため中止
12月18日(土)	「日本画家研究Ⅱ」 小倉 遊亀	吉田俊英(当館館長)
令和4年1月15日(土)	「日本の宗教美術～仏教美術を中心に～」	
3月26日(土)	「川合玉堂～日本の風景画論～」	※ミュージアムセミナー延期のため中止

⑤大人の社会科(全5回、うち3回中止)

参加者数19人〔場所：講座室ほか〕

4月25日(日)	【ワークショップ】大人の勾玉	野口裕(当館職員)
5月29日(土)	【ワークショップ】バックヤードツアー	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
9月18日(土)	【講演会】古文書に見る伝説の生き物	
11月7日(日)	【ワークショップ】学芸員体験 ものを見る力を育てよう	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)
令和4年2月26日(土)	【講演会】日記から読む四日市・2	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑥丹羽文雄記念室行事(全2回)

参加者数26人〔場所：講座室〕

4月18日(日)	原作映画上映会「飢える魂」	齋田明里(当館職員)、大塚圭剛(当館学芸員)
11月21日(土)	原作映画上映会「続・飢える魂」	齋田明里(当館職員)、大塚圭剛(当館学芸員)

⑦出前講座

(市内各所)

演題	回数	人数	講師
東海道と四日市宿	1	10	廣瀬毅(当館副館長・学芸員)
伊勢参宮と四日市	1	20	
心を包む風呂敷	3	49	野口裕(当館職員)
日本文化における「真・行・草」	1	17	吉田俊英(当館館長)
世間はアートで満ちている	1	30	
その他	2	118	
合計	9	244	
申込み受託後、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	3		

(3)実習・研修の受入

①博物館実習

8月31日(火)～9月10日(金)の内、土、日、休館日、を除いた8日間

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②学校教員研修

月	内容	人数	担当
7月～ 令和4年2月	社会体験研修	16人	野口裕 (当館職員)
7月	体験的博物館講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0人	
	計13日	16人	

③中学生の職場体験

月	校数	人数	担当
延0日	0校	0人	※希望校なし

④博物館ボランティア養成研修

9月25日(土)、10月10日(日)、11月6日(土)、11月27日(土)、12月19日(日)、令和4年1月10日(月・祝)、2月13日(月)、3月8日(火)～31日(月)の内1日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月25日(土)、2月13日(月)は中止 全8回(内2回中止) 参加18人
--

(4) ボランティアとの協働

博物館ボランティア

登録者数 37人(うち3年度登録者 18人)

延べ活動者数 370人

丹羽文雄記念室語り部

登録者数 7人

延べ活動者数 5人

古文書ボランティア

登録者数 8人

延べ活動者数 64人

6. 資料収集保存事業

(単位：件)(令和4年3月末現在)

1	区分	実物・標本	模型・複写
人文学資料	(1)考古	1,448	25
	(2)美術工芸	4,534	25
	(3)民俗	5,643	17
	(4)歴史	11,175	60
	(5)文学	4,918	8
	計	27,718	135
2	区分	実物・標本	模型・複写
自然科学資料	(1)動物資料	0	0
	(2)植物資料	4,044	0
	(3)地学資料	130	3
	(4)理工学資料	0	0
	(5)天文資料	7	0
	(6)その他の資料	1	0
計	4,181	3	

7. プラネタリウム投映事業

(1) 季節番組

季節ごとに2種類(一般番組、ファミリー番組)の番組を投映した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月27日から9月30日は臨時休館となった。1月15日から3月31日までファミリー番組を一般番組に変更して投映した。座席は70席に限定して投映した。

<春番組>

①ファミリー番組「秘密結社 鷹の爪 THE PLANETARIUM ～ブラブラ!ブラックホールのナゾ～」	
②一般番組「重力 ～宇宙を支配する謎のチカラ」	
投映期間	3月9日(火)～6月6日(日)
観覧者数	①3,069人 ②1,546人

<夏番組>

①ファミリー番組「忍たま乱太郎の宇宙大冒険 with コズミックフロント☆NEXT 月ウサギがクレーターをかけるの段」	
②一般番組「月世界 月に降り立ったらどんな感じだろう？」	
投映期間	6月15日(火)～9月5日(日)
観覧者数	① 5,158人 ② 3,073人

※8月27日(金)から9月5日(日)まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため投映中止。

<秋番組>

①ファミリー番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! ーブラックホールとの遭遇ー」	
②一般番組「星の降る夜に ～流星群の正体に迫る～」	
投映期間	9月14日(火)～12月5日(日)
観覧者数	① 2,870人 ② 1,485人

※9月14日(火)から9月30日(木)まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館のため投映中止。

<冬番組>

①ファミリー番組「ポケットモンスター オーロラからのメッセージ」	
②一般番組「にゃんこ博士が説く 宇宙からやってくるメッセンジャーの謎」	
投映期間	12月14日(火)～令和4年2月27日(日)
観覧者数	① 2,575人 ② 2,758人

※1月15日(土)から2月27日(日)まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためファミリー番組を一般番組に替えて放映した。

<春番組>

①ファミリー番組「ハローキティ トゥインクル☆ムーンライト」	
②一般番組「宇宙交響曲 138億年をめぐる旅」	
放映期間	令和4年3月8日(火)～6月5日(日)
観覧者数	① 0人 ② 1,439人 なお、観覧者数は、3月31日までの合計

※季節番組に各1回字幕付き放映を実施(夏ファミリー番組及び冬ファミリー番組を除く)。3月8日(火)から3月31日(木)までファミリー番組を一般番組に変更して放映した。

(2) 特別番組

①夜間特別番組(毎週土曜日 18:20～19:15)

億の星みち 季節★ トコロ変ワレバ… 季節がハンタイだ! 【南半球への旅】	3月13日(土)～6月5日(土) 観覧者数 188人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月15日から6月5日まで放映中止。
億の星みち 季節★ トコロ変ワレバ… 日本にない?ミッドサマー【北欧への旅】	6月19日(土)～9月4日(土) 観覧者数 123人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6月19日、8月7日から9月4日まで放映中止。
億の星みち 季節★ トコロ変ワレバ… 季節がない? 【赤道直下への旅】	9月18日(土)～12月4日(土) 観覧者数 206人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため9月18日から10月9日まで放映中止。
億の星みち 季節★ トコロ変ワレバ… 夜が明けない? 【北極・南極への旅】	12月18日(土)～ 令和4年2月26日(土) 観覧者数 71人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1月15日から2月26日まで放映中止。
L I F E いのち『うまれる』ことを再体験	令和4年3月12日(土)～ 6月4日(日) 観覧者数 0人 ※観覧者数は、3月31日までの合計 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月12日から3月31日まで放映中止

※夜間特別番組に各1回字幕付き放映を実施(新型コロナ

ウイルス感染症拡大防止のため放映中止となった番組を除く)

②幼児番組

はじめての プラネタリウム 「なないろどうわ プラネタリウム」	4月9日・16日・23日(金)・29日(木・祝)～5月5日(水・休)・4月18日・5月16日・6月20日・7月18日・8月15日・9月19日・10月17日・11月21日・12月19日・令和4年1月16日・2月20日
	観覧者数 345人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月29日(木・祝)～5月5日(水・休)・5月16日・6月20日・8月15日・9月19日・10月17日・令和4年1月16日・2月20日は中止。中止の回はファミリー番組を放映した。

③環境番組

時空街道ツアーex 宇宙から見た地球	4月4日(日)・5月4日(火・祝)・7月4日(日)・10月24日(日)・11月14日(日) 観覧者数 145人
-----------------------	--

※5月4日(火・祝)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 学習放映(団体利用放映)

- ・ 保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校、高校等の団体対象(事前申込みが必要)
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による体験型の学習用プラネタリウム
- ・ 四日市公害と環境未来館と連携して、小学校5年生を対象に環境学習プログラムを放映
- ・ 企画展(学習支援展示)に関する学習プログラムを放映

天体学習プログラム	124回	6,052人
環境学習プログラム	24回	1,124人
学習支援展示学習プログラム	11回	576人
合計	159回	7,752人

<季節番組・学習放映の放映時刻>

平日	学習 9:50	学習 11:00	学習 13:15	一般 14:20	ファミリー 15:35	
土日祝 学校長期 休暇期間	ファミリー 10:05	ファミリー 11:20	一般 13:05	一般 14:20	ファミリー 15:35	土曜 夜間 18:20

※学習放映は環境学習は約30分間、天体学習は約45分  
その他は入場も含めて約55分間

(4) プラネタリウムイベント

①宇宙塾

「失われゆく夜について考える」	7月10日(土) 18:20~20:00
	黒田 淳哉 (四日市大学 助教)
	観覧者数 69人
「宇宙大航海時代へ～漆黒の大宇宙への冒険～」	7月31日(土) 18:20~20:00
	國中 均 (JAXA 宇宙科学研究所 所長)
	観覧者数 70人
「宇宙からの素粒子で探る古代遺跡の謎」	令和4年1月29日(土) 18:20~20:00
	森島 邦博 (名古屋大学大学院理学研究科 准教授)
	コロナのため中止

②特別企画

プラネタリウムコンサート 「たなばた・JAZZライブ コンサート」	8月14日(土) 18:20~20:00
	森谷ワカ 早川ふみ
	コロナのため中止
プラネタリウムコンサート 「クリスマスコンサート」	12月25日(土) 18:20~20:00
	New Tones
	観覧者数 70人
プラネタリウムコンサート 「はじめてのコンサート」	令和4年3月20日(日) 10:05~10:50
	落合義視
	コロナのため中止

(5) その他投映

① 研修・視察等に関する投映 0回 0人

(6) その他視察 1回 1人 (1団体)

※観覧者数としてカウントしない。

8. 天文教育普及事業

移動天文車「きらら号」を使った観望会やコズミックスクールでの科学工作など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

(1) 移動天文車「きらら号」事業

大型天体望遠鏡を載せた移動天文車「きらら号」による

星空観望会を天文ボランティアの方々と協働で実施した。

①派遣事業

要請により市内各地へ出動し、観望会を行った。

「きらら号」稼働状況 (派遣事業のみ)	
稼働予定回数 11回 (実施: 8回、中止時の天文教室: 0回、コロナのため中止: 3回)	参加者数 518人 ボランティア数 延べ35人

②主催事業

「きらら号」稼働状況 (主催事業のみ)	
稼働予定回数 15回 (実施: 6回、コロナのため中止: 10回)	参加者数 474人 ボランティア数 延べ47人

<主催観望会>

会場: 市民公園 (博物館前)

月を見よう	4月24日(土) 19:30~21:00	55人
月を見よう	5月22日(土) 19:30~21:00	コロナのため中止
春と夏の大三角を見よう	6月26日(土) 20:00~21:30	
夏の大三角を見よう	7月24日(土) 20:00~21:30	114人
月と夏の星座を見よう	8月15日(日) 19:30~21:00	
巨大惑星を見よう	8月28日(土) 19:30~21:00	
あと一步の名月を見よう	9月20日(月・祝) 19:30~21:00	コロナのため中止
巨大惑星を見よう	9月25日(土) 19:30~21:00	
巨大惑星を見よう	10月23日(土) 18:30~20:00	137人
太陽と金星を見よう	10月30日(土) 14:00~16:00	88人
巨大惑星を見よう	11月27日(土) 18:30~20:00	80人
星雲・星団を見よう	令和4年 1月22日(土) 18:30~20:00	
星雲・星団を見よう	2月26日(土) 18:30~20:00	コロナのため中止
太陽と金星を見よう	3月20日(日) 10:00~12:00	
星雲・星団を見よう	3月26日(土) 19:30~21:00	

## (2) 公開観望会（移動天文車「きらら号」出勤なし）

春の星空と 皆既月食を見よう	5月26日(水) 20:00～21:30 場所:伊坂ダム	コロナの ため中止
ペルセウス座流星群と 夏の星空観望会	8月12日(木) 19:30～21:30 場所:伊坂ダム	
部分月食を見よう	11月19日(金) 18:00～20:00 場所:伊坂ダム	85人

## (3) コズミックスクール

①プラネタリウムボール をつくろう	5月1日(土) 14:00～15:00、15:30～16:30 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
②ミニ双眼鏡をつくろう	5月22日(土) 14:00～15:00 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
③三球儀をつくろう	7月24日(土) 14:00～15:00 参加者数 35人

## (4) 楠歴史民俗資料館「夏の夜間特別開館」での工作

プラネタリウムボール をつくろう	5月29日(土) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
---------------------	------------------------------------

## (5) 夏季教職員研修講座（天文教育研修）

移動天文車きらら号の 活用と資料作成のため の月撮影や画像処理 (小・中学校教員対象)	7月30日(金)8:30～11:30
	浅田 英夫(天文研究者) 参加者数 4人
星座早見盤の使い方と 3、4年生の学習投映 (小・中学校教員対象)	8月23日(月)9:30～12:00
	天文係職員 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止

## (6) 学校連携

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プラネタリウムの座席数を70席に制限していることから、例年行っている市内中学校の1年生から3年生までを対象にした、夏休みのプラネタリウム番組を学習として活用できる学習参加券（無料観覧券）の配付を見送った。

## (7) 四日市子ども科学セミナー

コズミックカレッジ 「宇宙飛行士に挑戦」 in 四日市	7月31日(土) 13:00～14:30(小学1～3年) 15:00～16:30(小学4～6年)
	柳川 孝二 (元 JAXA 有人宇宙技術部長)
	参加者数 83人

## (8) ガリレオ教室（天文ボランティアとの協働）

4月11日(日)	火星探査の実際
7月11日(日)	夏の星座を知ろう
11月14日(日)	部分月食の楽しみ方
令和4年1月9日(日)	今年注目の天文現象
1日2回 実施 参加者数合計 98人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月9日・8月6日・10月10日・2月13日・3月13日は中止 ※休館日のため、6月13日・9月12日・12月12日は中止	

## (9) 天文ボランティア支援事業

天文ボランティアが主体的に実施する事業を支援する。

- ①天文ボランティア学習会（全7回実施）
- ②天文ボランティア主催観望会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
- ③天文ボランティア工房（全5回実施 参加者174人）

## 9. 開館時間等

開館時間 午前9時30分から午後5時まで  
(ただし展覧会への入場は午後4時30分まで)  
※毎週土曜日は夜間特別開館として1階・5階のみ、午後7時30分まで開館。  
休館日 月曜日(休日の場合は翌平日)及び年末年始  
(12/27～1/3)ただし、8月16日は開館  
整備休館 6月 7日(月)～14日(月)  
9月 6日(月)～13日(月)  
12月 6日(月)～13日(月)  
令和4年 2月28日(月)～3月7日(月)

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月27日(金)～9月30日(木)までは臨時休館。  
※プラネタリウムは70席で投映した。  
※日本博物館協会策定のガイドラインを基に、展示室混雑時の入場制限、プラネタリウムの座席制限、1階エントランスの通行制限、館内のアルコール消毒、来館者の検温・手指消毒・連絡先の記入、COCOA及び安心みえるLINEの推奨を行った。



観覧料金

区分	博物館 特別展示	プラネタリ ウム	プラネタリウ ム特別番組
一般	その都度 定める額	550 円	その都度 定める額
高・大生		390 円	
小・中生	無 料	210 円	

※有料 20 名以上の団体は 2 割引

※博物館常設展示は無料

施設利用

	9 時 30 分 ～12 時	13～17 時	9 時 30 分 ～17 時
特別展示室 595m <sup>2</sup>	—	—	33,000円
講座室 142m <sup>2</sup>	8,800円	13,200円	22,000円

10. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月 計
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	回数	観覧者数	
4月	26日	1,317	12日	369	26日	90回	1,685	3,371
5月	26日	2,175	26日	694	26日	99回	2,015	4,884
6月	20日	2,375	6日	291	20日	85回	2,998	5,664
7月	27日	3,638	25日	2,983	27日	127回	4,673	11,294
8月	23日	3,475	23日	2,473	23日	114回	3,719	9,667
9月	0日	0	0日	0	0日	0回	0	0
10月	27日	3,363	0日	0	27日	117回	3,848	7,211
11月	25日	3,293	0日	0	25日	100回	2,958	6,251
12月	17日	1,819	0日	0	17日	64回	2,337	4,156
4年1月	24日	3,201	24日	2,908	24日	97回	3,209	9,318
2月	24日	2,634	24日	2,494	24日	84回	1,940	7,068
3月	21日	2,067	0日	0	21日	83回	1,962	4,029
合計	260日	29,357	144日	12,212	260日	1,060回	31,344	72,913

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、臨時休館8月27日～9月30日

[参考] 過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
	日数	観覧者数	日数	観覧者数	日数	観覧者数	
2	255日	18,528人	144日	13,044人	231日	19,457人	51,029人
元	285日	44,816人	161日	17,019人	266日	54,079人	115,914人
30	287日	50,689人	153日	13,027人	287日	63,389人	127,105人

※令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプラネタリウム投映休止令和2年3月10日～31日

※令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のためプラネタリウム投映休止4月1日～5月31日。4月15日～5月18日は臨時休館。